

ふるまうふるまう風景の中で暮らしたい

市民と歩む会 秋久 憲司



質問→史跡美作国分寺跡は世界遺産である東大寺や平城宮と類似点がある由緒ある遺跡。学習に活用できる「説明板」を設置し周辺遺跡なども整備を。

答弁→「説明板」を設置し周辺文化財との周遊性を検討し「ウォークマップ」作り等地域活動に積極的に協力する。

質問→歴史景観、都市、農村、自然の景観という市民的財産を守るために「景観条例」による景観の保全を行うべき。

答弁→市民のコンセンサスを得て景観法に基づく景観行政に取り組む。

質問→神南備園の障害児療育事業はニーズが多い、心理士等による相談や訓練の充実、「親の会」等と協議し療育サービステキ全体の見直し強化を。

答弁→療育事業の充実を図り関係者との「地域療育ネットワーク」の充実を図る。発達支援ガイドブックを作成したい。

質問→山城の調査成果の刊行や説明板等国民文化祭に向けての整備計画は。

答弁→できることから年次的に取り組むよう検討を進める。

中世山城サミットを

みどりの会 川崎 修



質問→国民文化祭での津山市の取り組みは。

答弁→今年度中に事業決定される予定、中世山城サミット等津山らしさを発信できる事業を要望している。

福祉問題について

木下 健二



質問→①障害者自立支援法施行し、津山市障害者計画が策定され、社会参加の促進が図られると思うが、現在どのようなことが問題になっているのか。②子育て支援策で希望する保育園に入れ

ない子どもがいるが、現在の規制を緩めて希望園に入れないか。③病院を退院しても行く場所のない高齢者への対応はどうしているのか。

答弁→①施設に入所している方の地域生活への移行、入院中の精神障害者の退院、福祉施設利用から一般就労への移行の促進等に課題を抱えている。②現在定員の百二十五%受け入れている。中心部に待機者が十三人いるが基準を超過しての受入は園児の安全上困難である。③困っておられる方については地域包括支援センターや関係機関とチームを組んで支援している。

地域共同の取り組みについて

津山誠心会議 田口慎一郎



質問→農家の高齢化や後継者不足を受け、国は本年度から、農家と非農家が共同で農業基盤となる農地や農業用水など

の資源、環境の保全を図る「農地・水・環境保全向上対策」を始めた。市の考え、取り組みは。

答弁→十地区(旧市域九、勝北地域一)で組織の立ち上げ準備に入っている。概算面積は約八百九十ha。地域住民の皆様が加わった組織を立ち上げ、適正な維持管理を行っていくという、今までになかった形態になる。今後地域の実情、実態に合った「津山方式」なる考え方をもち対象地域の拡大に可能な限り対応したい。国土の保全、コミュニティの形成を含め、この対策は有益なものと考えられる。有効かつ適切に応用していきたい。